

令和 4年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課
 担当名：販売対策・6次産業化担当
 内線：4111 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B15	埼玉ブランド農産物推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	埼玉農産物ブランド化推進事業費			
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	なし				針路	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2
	令和 7年度			分野施策	1202	強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-3, 2-4			
1 事業概要				5 事業説明							
<p>県民の豊かな食生活を支え、生産者の経営安定と所得向上を実現するためには、埼玉ブランド農産物を創出し、安定した価格と需要の拡大を図りながら販売していく必要がある。</p> <p>そこで、県が育成した品種を中心にブランド力の強化を図るとともに、産地による県産農産物の販売促進に関する取り組みを支援し、実需者や消費者から広く認知されることで、県産農産物の需要を拡大する。</p> <p>(1) 県産農産物販売戦略推進事業 760千円 (2) 県産農産物ブランド力強化事業 2,769千円 (3) 県産農産物情報発信強化事業 2,065千円 (4) 県産農産物販売促進事業 1,802千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県産農産物販売戦略推進事業 760千円 埼玉県産農産物の総合的な販売対策を検討するとともに、ブランド化を戦略的に取り組む体制を整備する。</p> <p>イ 県産農産物ブランド力強化事業 2,769千円 県が育成した品種を中心に、他産地との差別化ができる商品づくりによるブランド力の強化を図るとともに、産地による販売促進活動を通じて付加価値化を図る。また、県が育成したいちごの新品種(べにたま)のイメージアップによる認知度向上を図るため、キャラクターデザインやプロモーション動画を作成し、効果的な販売促進活動を行う。</p> <p>ウ 県産農産物情報発信強化事業 2,065千円 ポータルサイトやSNSなどの各種デジタルツールを有効活用した情報発信を強化するとともに、クチコミキャンペーン等を実施することにより、県産農産物の認知度向上と購買意欲の促進を図る。</p> <p>エ 県産農産物販売促進事業 1,802千円 県産農産物の認知度向上と消費拡大を図るために、関係機関等と連携し、農産物直売所や駅、量販店等におけるプロモーション活動の支援を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉農産物販売対策会議の開催 2回 イ いちごのイメージアップセールスの実施 1回 ウ SNS等を活用した情報発信 200回 エ 直売所や駅、量販店等での販促キャンペーンの実施 50回</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> いちご「あまりん」の認知度 令和7年度 50%以上 彩玉の販売単価(等級7玉以上) 令和7年度までに 10%アップ 埼玉農産物ポータルサイトの月平均アクセス数 令和元年度 6,775件/月(令和元年を除く過去5年間平均14,701件) → 令和7年度 20,000件 埼玉農産物の認知度向上 令和元年度 31.1% → 令和7年度 44.6% 							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500円×2.5人=23,750千円											
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比		
決定額	7,396	諸収入	630					6,766	△1,927		
前年額	9,323	諸収入	630					8,693			